

叙勲受章

長年にわたる職務に対する功労や社会貢献をたたえる叙勲などを受章されました方をご紹介します。

高齢者叙勲 瑞宝双光章



島田茂さん
(池田町州津)

昭和31年6月加茂中学校に赴任し、教育者としての第一歩を踏み出され、平成6年3月末に池田中学校長を最後に退職するまでの長きにわたり、児童生徒の健全育成や学力向上、教職員の指導など本県教育の振興・発展に尽力されました。



大きく育てて かずら橋の材料に シラクチカズラの苗木づくり

西祖谷の榎生小学校、吾橋小学校と中学校の児童生徒が、7月19日、祖谷ふれあい公園でかずら橋の材料となるシラクチカズラの苗木づくりを体験しました。

3年に1度、架け替えられるかずら橋の材料の確保が徐々に困難になっていることから、祖谷の蔓橋架け替え資材確保実行委員会と一緒に、13年前から苗木づくりと植樹活動を続けています。

児童生徒たちは、シラクチカズラの挿し木を用意されたプランターに植え付け、約300株の苗木を作りました。



夏休みジオイベントを開催

子どもたちが大歩危でなぞときしました

子どもたちにとっては夏休み期間である8月4日に、大歩危を舞台としたジオイベント「大歩危なぞときジオ探険隊」が開催されました。

探険隊員となった子どもたちは、大歩危に隠された謎をとくためにジオガイドさんから与えられたミッションを、オリエンテーリングを通じて学びながら解き明かしました。

その後は、地面が雨の影響でどのような変化が起きるかを「地すべり実験」など計4種類の実験で地質や地盤の特徴を学びました。



2年ぶりに栗山集落に賑わい 栗山の鉦踊りを奉納

徳島県指定無形民俗文化財となっている「山城の鉦踊り」。4か所のうちの一つ、「栗山の鉦踊り」が8月15日、山城町栗山の大神社で2年ぶりに奉納されました。

2018年7月の西日本豪雨による土砂災害で、現在も避難生活を余儀なくされている栗山地区では、久しぶりに住民が再会し、笑顔で近況などを報告していました。



この日も前日から大雨が続き、開催が危ぶまれましたが、開始時刻の13時には雨も上がり、薄日が射し始めました。保存会のメンバー13名は神事後、色鮮やかな花笠や天狗のお面を身につけ、鉦と太鼓のお囃子に合わせて輪になって200年以上続く伝統の踊りを披露。新仏の供養と集落の安全を祈願しました。

100歳おめでとうございます



西内 教進さん
(山城町茂地)

8月23日、山城町の西内教進さんが満100歳を迎えられ、県や市から祝状などが贈られました。

山城町で生まれ、25歳で結婚された西内さんは、葉たばこや野菜などを栽培しながら1男2女を育てられました。趣味は野球や相撲などのスポーツ観戦のほか、新聞を読むことだそうです。現在入所されているグループホームでも毎朝の新聞を楽しみにされているとのこと。これからもお元気で過ごしてください。



大西 フサ子さん
(井川町井内東)

8月18日、井川町の大西フサ子さんが満100歳を迎えられ、県や市から祝状などが贈られました。

井川町で生まれた大西さんは、20歳で結婚され、葉たばこなどの農業を営みながら2男1女を育てられました。御詠歌や舞踊などを好まれていた大西さん。食べ物に好き嫌いはなく、現在入所されている介護老人保健施設ではぬりえ等を楽しんでいるようです。これからもお元気で過ごしてください。



火災の被害を最小限に 消火活動に感謝状を贈呈

7月30日、みよし広域連合消防本部にて消火活動の協力に対し、県西土木株式会社 代表取締役 藤本利文様および有限会社三共企業体 代表取締役 岡典司様に、笹川消防長より感謝状が贈呈されました。

6月21日、池田町西山で住宅火災が発生した際に、企業で所有している車両にて消防用水を運搬し、消火活動に協力していただき被害を最小限に留めることに貢献されました。消防活動に対し尽力いただいたことに敬意を表するとともに厚くお礼を申し上げます。



白球飛ぶ 白熱の攻防戦 激戦! 葛文也杯選抜野球大会

池田高校野球部元監督・故葛文也氏の功績を顕彰し、第13回葛文也杯選抜野球大会が8月4日から8日まで開催されました。新型コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小し県内8チームが参加しました。

2年ぶりとなった本大会は、コールド試合がなく、ナイターにもつれる試合が展開されるなど、手に汗握る熱い試合が続きました。

優勝は吉野中学校、準優勝は美馬・半田中学校、第3位に三野中学校が入賞しました。



選手に届け 我らの想いととも 東京2020パラリンピック三好市採火式

8月13日、障がい者支援施設 箸蔵山荘で、東京2020パラリンピック三好市採火式が行われました。三好市身体障害者会会長、三好市手をつなぐ育成会会長、箸蔵山荘利用者とともに、舞錐方式にて火を起し、市内障害者通所施設から集めた木材に採火しました。

また、採火式場を彩ってくれた花は、ワークサポートやまなみの利用者の方々がこの日のために種から育てたものです。

それぞれの想いにより採火した聖火で、東京2020パラリンピック選手への応援を三好市から届けました。



オンラインで熱い夏を届けます 三好の夏2021で盛り上がり

昨年に続き中止となった「いけだ阿波おどり」。三好の夏の賑わいを未来につなげようと、オンライン配信イベント「三好の夏2021」が無観客で行われました。

人気芸人の「すゑひろがりず」がオンラインで登場するとともに、2人組音楽ユニット「ゆりり」や地元連による阿波踊りなどでイベントを盛り上げました。

その様子は池田ケーブルネットワークやYouTubeで配信されるとともに、16日には、池田のまちなかでよしこのや過去のいけだ阿波踊りの上映も行われ、三好の夏の灯りを来年につなげました。